

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	福島県	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	福島県文化遺産を活かした地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>◇福島県地域文化遺産活性化事業 福島県復興計画の（２）地域のきずなの再生・発展の推進として、東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故（以下、「東日本大震災等」という。）により多大な影響を受ける影響にも配慮しながら、県内の無形民俗文化財等の継承を図る。</p> <p>◆福島県歴史的建造物保全活用推進事業 福島県復興計画のふくしまの未来を見据えた対応として、（２）地域のきずなの再生・発展の⑤ふくしまの宝を再発見し、磨きをかけ、発信する活動を推進するため、東日本大震災で被災した歴史的建造物等の文化遺産等について「歴史的建造物等の復旧・魅力向上支援事業」を実施した。 これら歴史的建造物等である文化遺産等の多くは、維持保全の検討もされぬままその多くは解体され、地域の宝である文化遺産等の消失が続いている。 残された文化的遺産等を我々の世代で終焉させることなく、次世代へ継承していく必要があることから、これらの保存・活用に関する専門家（ヘリテージマネージャー）を育成し、さらに育成した専門家を活用した文化的遺産等に関する調査やデータベース作成、地域への保存・活用方法等の普及啓発活動、修復・活用方法についての助言及び指導等による文化的遺産等の次世代継承を図る。</p>			
6 実施体制			
<p>事業については、福島県が全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。</p> <p>◇福島県地域文化遺産活性化事業 ＜主な担当課、役割＞ 教育庁文化財課：市町村との連絡調整、県事業と本事業の調整 また、事業の実施については、次の団体が実施する。 特定非営利活動法人 民俗芸能を継承するふくしまの会</p> <p>◆福島県歴史的建造物保全活用推進事業 ＜主な担当課、役割＞ 生活環境部自然保護課：歴史的な景観の保持等に関する助言・指導等 土木部建築住宅課、建築指導課：建築物等の保存修景等に関する技術的な助言・指導等 教育庁文化財課：歴史的建造物等の登録文化財化などの助言・指導等 ＜事業実施主体＞ 福島県歴史的建造物保全活用促進協議会（事務局：公益社団法人福島県建築士会） 構成団体（福島県、福島県建築士会、福島県建築士事務所協会、福島県建築安全機構、ふくしま建築住宅センター、福島県建築設計協同組合、県内研究機関（日本大学工学部））</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 128,839 千円	平成29年度申請額： 11,481 千円
(2) 実施事業の概要			
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>◇福島県無形民俗文化財等伝承復興事業 東日本大震災等の影響により、存続の危機にある無形民俗文化財等の次世代への継承を図り、避難等により失われた地域コミュニティのきずなを再生・発展することが期待できる。</p> <p>◆福島県歴史的建造物保全活用推進事業 本計画に基づく事業の実施により、県民の文化遺産等に関する興味や意識の向上を図り、これらの保存と次世代への確実な継承とともに、これらを活用した地域の活性化が期待できる。また、これまでは次世代へ継承すべき地域の文化遺産等がどこにどの程度存在しているのか不明確だったが、それらを明らかにすることで、より具体的な保存と活用方法を地域の専門家が助言できるようになる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	福島県事業「地域の『きずな』を結ぶ民俗芸能支援事業」8,000千円 …東日本大震災等による被災、避難等によって流出、毀損した、民俗芸能用具の新調（1点10万円以上など）や修復に要する費用や、練習等で参集するための交通費に対する助成。		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	福島県教育庁文化財課・福島県生活環境部自然保護課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	鹿島御子神社の春祭り(小池獅子連中)や津島地区の祭礼(津島郷土芸能保存連合会)等、補助事業実施地区の各保存会会員数			関連事業:	①~⑭	
目標値 1 :	平成 28 年度		478 人	⇒	平成 33 年度 478 人	
設定根拠 1 :	祭礼地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 2 :	早乙女踊り行事に参加する子ども(小学生)の参加者(のべ)人数維持			関連事業:	⑮	
目標値 2 :	平成 28 年度		11 (人)	⇒	平成 33 年度 11 (人)	
設定根拠 2 :	平成28年度の実績から、現状維持を設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	その他					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 3 :	ヘリテージマネージャー育成講座修了者による歴史的建造物の調査件数			関連事業:	⑰⑱	
目標値 3 :	平成 28 年度		5 件	⇒	平成 33 年度 5 件	
設定根拠 3 :	平成28年度実績見込みから現状維持を設定する。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
件	件	件	件	件	件	



事業④：	伊佐須見神社のお田植祭りの面の修理	実施団体：	特定非営利活動法人 民俗芸能を継承するふくしまの会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	お田植祭りの使われる面 10 点の欠損の補修と全面塗替。					
評価指標区分：	・ 保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	伊佐須美神社の神事要員数の維持と継承者の増員					
目標値：	平成 29 年度	250 人	⇒	平成 33 年度	300 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業⑤：	中ノ目の大念物踊のバチと太鼓の修理	実施団体：	特定非営利活動法人 民俗芸能を継承するふくしまの会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	太鼓の革片面張替とバチの白毛の修理。					
評価指標区分：	・ 保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	中ノ目の大念物踊保存会の会員の維持と後継者の増員					
目標値：	平成 29 年度	10 人	⇒	平成 33 年度	20 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業⑥：	慧日寺の明神の舞の太鼓台の新調	実施団体：	特定非営利活動法人 民俗芸能を継承するふくしまの会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	幕末で途絶えた舞を再現させるために必要な太鼓の台 1 台の新調					
評価指標区分：	・ 保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	明神の舞復元調査委検討会の会員の維持と後継者の増員					
目標値：	平成 29 年度	10 人	⇒	平成 33 年度	15 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	



事業⑩:	保原のつつこ引き祭りの囃子方の半纏の新調	実施団体:	特定非営利活動法人 民俗芸能を継承するふくしまの会			
事業区分:	用具等整備	事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要:	獅子方の半纏70枚					
評価指標区分:	・保存会会員数の変化(維持)			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	中村太鼓保存会の会員の維持と後継者の増員					
目標値:	平成 29 年度	15 人	⇒	平成 33 年度	25 人	
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業⑪:	松川の神楽の半纏の新調	実施団体:	特定非営利活動法人 民俗芸能を継承するふくしまの会			
事業区分:	用具等整備	事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要:	半纏20枚の新調。					
評価指標区分:	・保存会会員数の変化(維持)			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	松川神楽保存会の会員の維持と後継者の増員					
目標値:	平成 29 年度	20 (人)	⇒	平成 33 年度	30 (人)	
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
事業⑫:	黒木の神楽の獅子頭の修理	実施団体:	特定非営利活動法人 民俗芸能を継承するふくしまの会			
事業区分:	用具等整備	事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要:	獅子頭の上顎と下顎の修理					
評価指標区分:	・保存会会員数の変化(維持)			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	黒木敬神会の会員の維持と後継者の増員					
目標値:	平成 29 年度	10 (人)	⇒	平成 33 年度	15 (人)	
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	

事業⑬：	神山の鳥さし舞	実施団体：	特定非営利活動法人 民俗芸能を継承するふくしまの会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度			
事業概要：	鳥さし用衣装1セット、親父用衣装1セット新調					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	神山の鳥さし舞保存会の会員の維持と後継者の増員					
目標値：	平成 29 年度	8 (人)	⇒	平成 33 年度	15 (人)	
進捗状況：						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
事業⑭：	前沢女宝財踊りの太鼓と衣装の新調	実施団体：	特定非営利活動法人 民俗芸能を継承するふくしまの会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度			
事業概要：	按摩の手甲1セット、博打の脚絆1セット、わらじ10束、志古貴4枚、太鼓1台					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	前沢女宝財踊り保存会の会員の維持と後継者の増員					
目標値：	平成 29 年度	12 (人)	⇒	平成 33 年度	15 (人)	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
事業⑮：	小林早乙女踊りの衣装の新調	実施団体：	特定非営利活動法人 民俗芸能を継承するふくしまの会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	早乙女衣装3セットの新調					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	早乙女踊り行事に参加する子ども（小学生）の参加者（のべ）人数維持					
目標値：	平成 29 年度	11 (人)	⇒	平成 33 年度	5 (人)	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	

事業⑩：	福島県歴史的建造物保全活用推進事業	実施団体：	福島県歴史的建造物保全活用促進協議会		
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 25 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	地域の文化遺産の保存・活用に関する専門家（ヘリテージマネージャー）を育成するための講習会を実施する。同時に一般公開の講座（講演会）を開催し、歴史的建造物等の保存に関する広報事業も同時開催する。				
評価指標区分：	・ヘリテージマネージャー育成講座修了者によるヘリテージ活動件数	（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	ヘリテージマネージャー育成講座修了者による歴史的建造物の調査件数				
目標値：	平成 28 年度	5 (件)	⇒ 平成 33 年度 5 (件)		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
(件)	(件)	(件)	(件)	(件)	(件)
事業⑪：	福島県歴史的建造物保全活用推進事業	実施団体：	福島県歴史的建造物保全活用促進協議会		
事業区分：	調査研究	事業期間：	平成 25 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	歴史的建造物の現地調査並びに所有者への聞き取り調査を実施し、補修や保存、利活用の基礎資料とする。				
評価指標区分：	・ヘリテージマネージャー育成講座修了者によるヘリテージ活動件数	（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	ヘリテージマネージャー育成講座修了者による歴史的建造物の調査件数				
目標値：	平成 28 年度	5 件	⇒ 平成 33 年度 5 件		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
件	件	件	件	件	件